

関東あまたか

創立40周年を迎えて

関東あまたか会会長 山中 麗子（高21）



か会は、昭和58年に創設され、この10月で40周年を迎えます。「総会・友好の集い」も10月22日（日）にJR四ツ谷駅前のスクワール麹町で行います。4年ぶりに笑顔で語り合おうのは、本当に嬉しいことで、積もる話だけでなく、お酒も進みそうです。

また、4月に母校から5名の卒業学生を迎え、稲本副校長先生のご協力で、5名全員と連絡が取れ、6月24日にお祝いをすることができました。皆さん、まだ2カ月というのにしっかりと将来展望があり、その目的に向かって進もうとする姿が、我々の時代と違うなあと感じました。先生、ありがとうございました。

3月27日には、科学部ホテル班が、「つくば Science Edge 2023」で、堂々とすばらしい

発行者 山中 麗子
発行所 関東あまたか会
事務局E-Mail: kimicchan135@gmail.com

関東あまたか会は、昭和58年に創設され、この10月で40周年を迎えます。「総会・友好の集い」も10月22日（日）にJR四ツ谷駅前のスクワール麹町で行います。4年ぶりに笑顔で語り合おうのは、本当に嬉しいことで、積もる話だけでなく、お酒も進みそうです。

また、4月に母校から5名の卒業学生を迎え、稲本副校長先生のご協力で、5名全員と連絡が取れ、6月24日にお祝いをすることができました。皆さん、まだ2カ月というのにしっかりと将来展望があり、その目的に向かって進もうとする姿が、我々の時代と違うなあと感じました。先生、ありがとうございました。

熊本が世界に誇る天草、そして歴史と伝統ある天草高校に赴任して

天草高等学校校長 中川 正利



天草高校同窓会関東支部の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に、ご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、この4月に天草高等学校長を拝命しました中川正利と申します。3月まで山鹿市の県立教育センターで勤務しておりました。平成元年に英語教師として教職の道を歩んできましたが、天草で勤務するのは初めてです。

熊本が世界に誇る自然や文化の宝庫である天草に、そして地域の拠点校として、国内外で活躍しておられる済々たる多士を輩出してきた天草高校に赴任できましたことは、この上ない喜びであるとともに身の引き締まる思いであります。

「正大」「剛健」「寛厚」の三綱領の精神が宿る次世代の社会を築く有為な人材を育成すべく、歴代の校長先生方の気概を受け継ぎ、

本校教育の充実・発展のため微力ながら力を尽くして参る所存でございます。どうぞ同窓会の皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度は、文部科学省指定「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」の第II期2年目を迎えます。その成果も着実に現れていきます。3月末に開催された「つくば Science Edge 2023」では、科学部が天草に生息するゲンジボタルの発光周期に関する研究結果を発表し、全国2位の成績を



「つくば Science Edge 2023」創意指向賞を受賞した二人



「つくば Science Edge 2023」参加者集合写真

取組、シンガポールで開催される世界大会への出場権を得ました。本校2度目の世界大会出場となる快挙であります。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校現場にも活気が戻って参ります。生徒諸君にとって「青春の忘れ物」がない一年となるよう心から願っております。定時制や倉岳校でも、一人一人を貴重な「人材」として輝かすべく、生涯の「学び」を目指して「人間」教育に邁進していきます。今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

最後に、関東あまたか会の益々の御発展を祈念申しあげ、ご挨拶といたします。

米寿を迎えて
青春時代の架け橋を思う

田崎 弘吉(高7)



初めて、あまたか会に出席したのは、還暦を迎える、そろそろ第二

の人生をという頃でした。そこでの仲間と再会したときの懐かしさと感動は今でも忘れません。四十数年の空白の時間を忘れ、夢中で青春時代を語り合ったのを思い出します。同期会である七草会にも出会えることができました。

私たちの現役時代は高度経済成長期から、そのバブル崩壊までの時期です。多様な場で活躍した仲間との再会は話題も豊富でした。再会後は折に触れ、飲食にゴルフなどと遊び仲間として旧交を温めたものでした。懐かしさと感動に紛れて、夜の赤坂、新橋、神楽坂も天草の地と化した時もありました。私にとって、あまたか会はすばらしい青春の思い出を辿る貴重な架け橋となりました。

時は過ぎ、老いを知ることとなり、鬼籍に入る仲間も聞くようになりまします。今は一日一番、悔い無き日常をと過ごしています。私にとって青春時代の思い出は、人生の拠り所でもあり、確かなものにしてくれる

支えでもあります。

この度、あまたか会より本誌への寄稿の機会をいただきました。



天高は旧制天草中学と高女の歴史を受け継いだ伝統ある母校です。もとの水は変われど大河の流れは変わらざす。あまたか会のこの誇り高き伝統ある青春の思い出を迎える時、いつまでもその大切な架け橋であってほしいと願うものです。

支えて頂く役員方々のご苦労には心から改めてお礼と感謝を申し上げますと共に、皆様のご健勝をお祈り申し上げる次第です。

傘寿を迎えて

本島 昭男(高15)



3月の連休に千葉県富浦に4家族が母狩りで集合し、孫達と一

緒に食事していた時、谷山相談役から「傘寿お祝い」の寄稿の依頼が来

ました。いつまでも若いつもりでいて、3月生まれの私はまだ傘寿の実感がなかったのですが「そうか、15回生は今年、大半が傘寿を迎えるんだ」と納得しました。年を取るの早いもので高校を卒業して60年も経つて傘寿を迎える年になったわけです。

私は御領で生まれ、天草高校を卒業後、熊本大学に進み、大和ハウスに入社、東北・九州・関西で勤務し、退職後、現在は神戸に住んでいます。子供や孫達は東京、東京、千葉と3家族とも関東に住んでいる縁で昨年10月のオンラインの「総会・友好の集い」に参加し、沢山の方と出会うことができました。本心にチームワークの良い「関東あまたか会」と感じました。

私は、ご縁Ⅱ5縁(血縁Ⅱ親・子や兄弟姉妹の縁、地縁Ⅱ出身地・住んだ地の縁、学縁Ⅱ小・中・高・大学校の縁

社縁Ⅱ会社の縁、趣縁Ⅱ趣味を通じた縁)を大事にして、同



窓会、県人会、会社のOB会や旅行等を楽しんでいます。色々な会合で会話していると不思議と5縁で縁が繋がります。「なーんだ日本人はみんな友達なーんだ」と思うものです。平成29年阿蘇熊本空港ホテルで「頑張れ15回生、地震に負けるな大会」に90名集まると以降、コロナ禍もあり「喜寿の大会」も無いままでしたが天草・熊本在住の幹事が「傘寿・天草記念大会」を来春開催で計画してくれています。

その為にも、退職してから15年続いている「スポーツジムに週2回」「生涯学習・神戸市老年大学に月2回」に通い健康維持と脳の活性化を図り、健康に気をつけて15回生の皆さんと「傘寿を祝う会」で会えるのを楽しみにしています。

傘寿を目指して

塩田 正照(高18)



今年に入り心を震わす出来事があった。WBCで日本チームが優勝

を飾ったのだ。勝利を重ねる日本チームの快進撃に、日本中が拍手喝采を送り、選手プレーに感動し、心が激しく揺り動かされていた。

栗山監督は最高の選手とスタッフを招集して、「信じて・任せて・感

謝する」事を信条としてチーム作りをしたのだ。その上で、終始、繊細な心配りが有ったと聞いた。象徴的なケースは準決勝のメキシコ戦。1点リードされた9回裏の攻撃に現れた。ノーアウトランナー1・2塁、打席には村上が向かう。ここまで3三振と絶不調だった。専門家の予想を覆して、監督は「思い切って打て！振り抜け！」との指示を下した。

奇跡が起きた。村上がフェンス直撃の決勝打を放ち、劇的な逆転勝利をもち取った。日本中が狂喜乱舞の埒場と化した。スポーツは心技体を極限まで鍛錬し抜いた者が高みに達するそうだ。このケースは、監督の透徹した信頼を、村上選手が全身全霊で受け止め、一瞬で心技体が合致したのかと推測した。人間は不思議な存在だと感嘆した。

決勝戦は、日米が激突！ダルビッシュ有が、苦勞の末に会得した技術を、若手に惜しげもなく伝授していた。登板した投手は、自身の力を全て発揮し、腕を振り抜いて投げた。足が震え意識が朦朧とする中で、投球



した者もいたようだ。豊かな経験が大きな影響力を發揮した好例であった。

強打の米国の反撃が有るとの前提で、初回から、宇田川投手が試合終了まで、緊急時に備えて練習していたそうだ。選手は3年後のWBCを目標して鍛錬を誓っていた。

「先ず傘寿 も少しせしかう 微助人」

古希を迎えて

大谷 寛(高25)

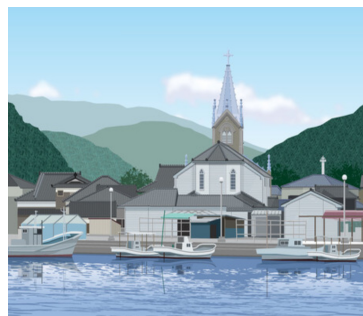


関東あまたか会のみなさん、高25回生の同級生諸君、お元氣ですか、

ご無沙汰しております。今年、48年間住み慣れた名古屋を離れ天草にUターンして4年目になりました。いま流行の移住です。移住の第一の目的は、90歳過ぎた母親の面倒を見ることでした。しかし今は私自身

が天草ライフを楽しんでいます。約50年間、盆と正月にしか帰省してなかったのですが、春・秋の季節の移ろいは格別です。招魂場の桜、天草の山全体が黄緑色に包まれる5月、本場のハイヤ祭り、昔とは比べ物にならないくらい小さくなったとは言え本渡の市も堪能しました。天草に住んでいる人にとっては当たり

おめでとうござい、います
今後もし活躍ください



Uターンして天草に住まんや！

前の事ですが、当初は毎日が感動の連続でした。最近では感動も薄くなりつつありますが、やっぱり故郷は良いものです。

またこの度、天草高校同窓会本部の副会長に就任することになりました。関東あまたか会の皆様には、中京支部会長時代には大変お世話になりました。支部の悩みのわかる本部の役員」として頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

25回同級生に一言。私はもうすぐ天草で古希を迎えることが出来るうです。

みんな色々な事情もあるかも知れんばってん

Uターンして天草に住まんや！

男として女房一人説得出来んでがんすよ！

還暦を迎えて

甲斐田 健吾(高34)



今年の5月で満60歳、無事に還暦を迎えることができます。

女として旦那一人言う事聞かせきらんでござあんすつと！
待つとるばい！

5月の誕生日は週末と重なったので、妻と転勤で愛知県に在住の長女、海外での勤務を終え帰国したばかりの長男の家族4人が2年ぶりに顔を合わせ、一泊旅行で祝いをしてくれました。(もつとも旅行代のスポンサーは私でしたが)

その昔、天草の父の還暦を祝った頃の私にとって60歳とはまさに「老人」の領域で、はるか先の未来、60歳になった自分の姿など全く想像できませんでした。自分もそんな年齢になったかと思うと感慨深いものもあります。少々複雑な心境にもなります。

18歳で予備校に通うため上京して以来、転勤で離れていた期間を除く35年間を東京で暮らしてきました。

た。長い会社勤めの中では、今だとかなり問題になるような激しい叱責を受けたり、膨大な業務を抱え、深夜帰宅や休日出勤が日常だった時期もありますが、心身ともに何事もなく乗り切れたのは、いざとなれば、会社を辞めても「天草に帰ればどぎゃんかなるだろう」と楽観的に構えられたことも大きかったように思えます。



新卒で入った会社は役職定年で退職し、3年前からグループ会社で勤務しています。生活のためにもうひと踏み張りといったところですが、最終ゴールが見えてきたせいか、不思議と労働意欲が高まってきており、今はできるだけ長く働きたいと考えています。また、独身の子供二人が幸せな家庭を築き、孫の顔を見せてくれることもこの先の願ひですが、最近のご時世では、口うるさく言うが、最近のご時世では、口うるさくなるので親の間でもハラスメントに気長に待つことにしています。

そのために健康第一、ストレスにならない程度には節制を心掛け、体力維持に努めていきたいと思ひます。

天草の海の幸を各種ご贈答にどうぞ
贈答用活車えび生産販売
有限会社 KOFUKUDO
幸福堂
代表取締役 松中 祐二 (高27回生) 宮野河内出身
〒863-1212 熊本県天草市河浦町宮野河内234
TEL 0969-78-0186(代) FAX 0969-78-0193
E-mail : kofukudo@gaea.ocn.ne.jp
http://www.koufukudo.co.jp/

警備に関することはなんでも相談せんね!
(株)機動警備
代表取締役社長 山下 純二 (天高19回生 姫戸出身)
電話 : 048-728-5530
FAX : 048-728-8085

あらたな旅立ちを見送るもう一つの我が家
大佛堂
★天草市栄町 6-17
TAL : 0969-23-5969
FAX : 0969-24-2526
天寿殿・ありあけ天寿殿
食事・宿泊も可能な施設あります
★天草市本渡町広瀬 465-2
TEL : 0969-22-0002
★天草市有明町大島子 284-1
TEL : 0969-52-0080

私の天高時代

旧校舎時代 ～30回生以前～



寮・下宿・間借り生活を満喫



松尾 和幸

(高16)

卒業アルバムの写真

寮・下宿・間借りの3とおりの生活を送った。3年生の6月まで寮生活。啓明寮は学校の中にあり、スリッパを持って、裸足で通学。足洗い場で足を洗って教室へ。弁当のおかずは、さつま揚げ2枚とたくあん2切。お腹が満たされず、売店の小溝パンのパンを食べた。3年生の6月、中間試験の時に、興味半分初めて徹夜した、結果は見事に成績が落ち。母に叱られて、N

先生と一緒に下宿させられた。先生は、麻雀、パチンコが趣味。帰宅はいつもパチンコ閉店後。たまには、大学入試の数学の問題を二人で争って解いたこともあった。下宿がお寺だったため、先生は食事が合わないからと3年生の11月、民家の2階に間借りした。炊事洗濯など家事は一切しない先生。日曜日は二人分を手洗い洗濯。朝食はコーヒー、トーストとゆで卵。昼食はラーメンかおにぎり、時々先生が予約して出前寿司を職員室で食べた。この頃のお寿司は安かった。夕食は天劇映画館隣のおでん屋で食べた。このおでんの味は天下一品だった。先生は下戸なのに、のんべえの店を好んでいた。出前寿司を職員室で食べたのは私だけかな？

マスゲームの思い出



田尻 正美

(高27)

一番の思い出は、体育祭のマスゲームである。1年生の時、列を作り長座し、左腕を前の人の上に置き右腕と頭を後ろに反らせたり前に戻したりして小波の様子を再現した。「さくら貝の歌」の曲にあわせ、気持ち良く出来た。2年生では、大きな円陣を組んで自分の手を交差後隣の人と手をつなぎ波を作った。運動場に膝をついて

(膝が小石で痛かった) 隣にひっぱられては顔と手をあげ、周りで体操部が曲に合わせてダンスをしているのが一瞬見えた(うれしかった)。3年時は背丈が高い人5～6人で、運動場に立ち隣の人を肘もち、腰をそらして顔を外に向け花の開く様を表現させられた。結構長い時間で、腰がつらく地獄であった(流された音楽は覚えていない)。筋肉質の男性が槍投げや砲丸投げのブロンズ像に扮し、板に乗り、数人で持ち上げられて私達の周囲にいた。頭から指先までブロンズ色の液を塗り、ポーズをとったまま動かないのは大変だろうと同情したものである。今となっては無理であるが、マスゲームを一度少し高いところから全体を見てみたかった！

バスは高年車、運転手は高齢者



荒木 統司

(高19)

勉強せず、柔道と中古バイクの再生で一匹狼のカミナリ族。家が新聞専売所で三角からの連絡船が遅れると遅刻、1年7組は生物教室で点呼後の授業は空き教室を転々と移動のため級友の姿を探し校内をさまよう始末、しかし担任の平山先生は無遅刻扱いとしていただいたと卒業後知る。円満家出手段として県警に就職、空も海も青い

松島で水上スキー・素潜り三昧で非番休日の疲れを勤務で癒す日々を過ごす。ふとしたことで警視庁に奉職となり、天草の数年分の仕事を半月で経験し「火事と喧嘩は江戸の華」を実感する。入学卒業とも天高よりはるかに楽な夜間大学を終え、警察署・機動隊・警視庁本部と複数回勤務し、定年後は大学の柔道コーチの誘いを断り、自宅近くでスクールバスの運転で中学高校生の送迎をし、生徒から「バスは高年車、運転手は高齢者」と称され、親や先生に話せない相談を受けること度々。定年後に始めたゴルフを楽しみ、1日1本のビールで同年同窓の妻と子供達の活躍と孫の成長を着に毎日毎晩同窓会をしている昨今です。

信州 白樺湖 THE LAKE RESORT 池の平ホテル新本館 本年4月22日 OPEN

平素より、天草高校 並びにあまたか会の皆様ご利用にありがとうございます。

代表取締役社長 矢島 義擴
元専務取締役 故矢島 静子 (高女29・下浦出身)

白樺リゾート 池の平ホテル

長野県茅野市白樺湖 池の平ホテル 検索

白樺リゾート池の平ホテル&リゾート 総合予約センター TEL.0266-68-2100



田中 春雄
(高33)

時間に追われた3年間

自宅から高校まではバスで1時間の道のり、卓球部に所属していたが、18時前最終バスのため、時間との闘いだっただ記憶しかない。そういう生活だったため、みんなほど勉強した記憶はない。ただ、ありふれた生活の中で時々のイベントは思い出される。高1の夏、同級生3人で、妙見ヶ浦で2泊3日のキャンプ、初めて海での食糧調達、飯盒炊飯をやった。水道もない時代なので、近くの山上の民家に水をもらいに行ったのが思い出される。また、高校から松島の千巖山までナイトハイク（40km）したのも思い出される。普段学校では見られない同級生の一面も垣間見られ、それ以降親しくなった気がする。中学からの同級生が下宿生活だったこともあり、中間、期末試験の間は1週間寝泊まりをしながら、勉強をしていた。おかげで、成績は良かった。友達に感謝！！家も裕福ではなかったので、相撲巡業、各種イベントのお手伝いで小遣いを調達。その経験からお金の有難みがわかるようになった。今年3月、天草に第2の家を購入し、現在リフォーム中。仕事、卓球、空手、地域活動、介護など相変わらず時間に追われた生活。



私の天高時代

新校舎時代 ~31回生以降~



坂本 菜子
(高71)

科学部一色の高校生活

私の高校時代は科学部一色でした。5人の部員と宮崎先生と地学室で過ごした時間が青春そのものでした。顕微鏡を見ながらウトウトして接眼レンズに目をぶついたり、部員総出で川に蛍を探しに行ったり、コーヒーを飲みすぎる宮崎先生に不健康だと怒ってみたり、視力は下がりましたが、本当に素敵な思い出です。文系だけど「楽しそうだから」という理由だけで入部した科学部でしたが、あの時に一歩踏み出して本当に良かったと感じています。きっと誰しも、周りからの目や既成概念に囚われて、自分のやりたいことを人に言えなかったり、ワクワクしてもそれを抑え込んだりした経験があると思います。使い古された表現ですが、一度きりの人生です。ぜひ天草高校に通う皆さんには、1つでも高校時代に熱中したと自信を持って言える何かを見つけてもらえたらと思います。部活でも勉強でも趣味でも恋愛でも、大人になって振り返った時の最高の思い出になりますし、私の青春捨てたもんじゃなかったと思える最強の酒のつまみになります。高校生は無敵です。楽しんでください。



濱崎 信也
(高39)

下宿の漫画本が勉強のきっかけ

天高の第2グラウンド奥にあった中山口の下宿に住んでいた。畑や田んぼが多く毎日がとても静かだった。これという趣味もなく下宿にあった古いマンガや週刊誌などを読んでいたが、知らない表現や人物があればメモをとり、翌日に図書館で調べたりしているうちに、史料集や地図帳、入試対策本などに手を伸ばすようになり、自分の知らない事の多さに驚き、いつの間にか勉強に夢中になっていた。特に、ラジオの受験講座で聞いたM.L. キング牧師のI have a dream、J.F. ケネディの大統領就任式の2つの演説には強く心を揺さぶられ、法律や政治経済の大学に行くこと決めた。友達は決して多くはなかったが、多くの同級生から「勉強意欲はどうやれば高まるのか」と聞かれた。「まず知らないことを知るといい」と答えたと思う。ある日、漢文が苦手な赤点の懸念があった同級生の吉村君とのこと。彼から懇願されテストの予想問題を作り対策した。すると数学が得意な吉村君は、私の漢文対策のお礼に確率の難問を出してくれた。私は解けなかった。吉村くんは私の知らないことを知っており、私は確率に夢中になった。

新型コロナウイルス等の関係で天草へ帰郷を検討されている皆さん

めぐみ保育園

一緒に働きませんか？

問合せ 電話0969-23-7334(担当:金子)

〒863-0038 熊本県天草市南町6-9

5万㎡の広大なリゾート

〒863-0001
熊本県天草市本渡町広瀬996
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp

コロナ禍の3年を振り返って

2020年1月に新型コロナウイルス感染症の最初の感染者が確認されてから、感染者の増加に伴い、都市封鎖こそ行われなかったが、各種感染拡大防止対策が実施されました。例えば、学校の臨時休校・対面授業の制限・オンライン授業推奨、外出自粛要請・他県への移動自粛、テレワークの推奨、イベント（スポーツイベント、音楽コンサート、展示会など）の中止・延期、飲食店の営業時間短縮・アルコール提供の制限規制、マスク着用推奨、3密回避などが行われました。



海の向こうに！



菅澤 真弓
(高21)

私は幼い頃、光る海を見てはこの海の向こうには何があるのだろうと思っていました。夢は看護婦でした。身長制限のせいで町の医院で働き、先生も同級生の母の看護婦さんも患者さんも優しくあったけれど、数ヶ月後、横浜の大産院の事務長の先輩からの声掛けで天草を出ました。日勤、夜勤をしながらの通学は楽ではなかったけれど、仲間がいて免許も取れ楽しい日々。結婚し、藤沢に落ち着き、家の近くの食堂や、7人ほどの女性ばかりの職場でお喋りし笑いながら働いたけれど、また看護婦にと研修を受けました。しかし疲れ切った私は息子から迷惑を掛けないでと言われ辞職。介護保険が始まり6か月勉強して市のヘルパーに。寝たきりの年寄り、障害者の方が私を頼り、可愛がってくれてケアマネよりも皆様の傍で働くのが好きでした。が、定年に。振り返るとヘルパーが私には一番合っていました。今私は花を育て、野良猫だったココとゆっくり過ごしています。あの光る海の向こうにあったのは家族と過ごす普通の日々でした。皆さま、またいつの日かお会いしましょう。

私は幼い頃、光る海を見てはこの海の向こうには何があるのだろうと思っていました。夢は看護婦でした。身長制限のせいで町の医院で働き、先生も同級生の母の看護婦さんも患者さんも優しくあったけれど、数ヶ月後、横浜の大産院の事務長の先輩からの声掛けで天草を出ました。日勤、夜勤をしながらの通学は楽ではなかったけれど、仲間がいて免許も取れ楽しい日々。結婚し、藤沢に落ち着き、家の近くの食堂や、7人ほどの女性ばかりの職場でお喋りし笑いながら働いたけれど、また看護婦にと研修を受けました。しかし疲れ切った私は息子から迷惑を掛けないでと言われ辞職。介護保険が始まり6か月勉強して市のヘルパーに。寝たきりの年寄り、障害者の方が私を頼り、可愛がってくれてケアマネよりも皆様の傍で働くのが好きでした。が、定年に。振り返るとヘルパーが私には一番合っていました。今私は花を育て、野良猫だったココとゆっくり過ごしています。あの光る海の向こうにあったのは家族と過ごす普通の日々でした。皆さま、またいつの日かお会いしましょう。

医療現場の3年間を振り返り



志茂 豊子
(高17)

医療現場は、CDCガイドラインに則って、感染症防止対策を実施しておりますが、COVID-19においては、それだけでは防御できない感染力の強さがありました。医療者は、日頃より関係団体と密な連携を取り、危機管理の回避に努めていますがコロナ禍では、患者・職員だけでなく家族や周辺の方々への支援も求められ、経済的

負担も大きいものでした。1年目は、国・自治体からの助成や適切な情報で未知の対応に大変助かりましたが、その後も続く危機的状況に職員は立たされ、毎週PCR検査で陰性確認、行動チェック・方策の点検、家族への支援等繰り返しながら何とか感染者を出さずに乗り切りました。しかし、状況が長引くにつれ、外部と接触せざるを得ない患者・職員も増え、昨秋には感染者が発生してしまいました。同時に、この頃にはCOVID-19 治療も進歩しており、感染者への早期治療が実施でき軽症に抑えられました。今後どのような変異株が発症するか気は抜けませんが、今まで築いた方策を継続して乗り切りたいと思います。

コロナのピンチをチャンスに



佐佐木 瞭
(高68)

私は消防署に勤務しており、救急隊員としてコロナ陽性患者の元へ出場することも多く、公私ともにコロナの影響を肌で感じながらこの3年間を過ごしました。最盛期の救急事情は個人的な感想にはなりますが、崩壊状態といっても過言ではない状態でした。1人のコロナ陽性者を病院へ搬送するまで、別の救急隊と5時間おきに交代しながら計15時間以上その場で病院へ連絡し続け、ようやく決まった病院へ2時間かけて向かうこともありました。一方、コロナとは関係ない救急要請であっても普段通りに対応します。しかし、近くに救急車がないため40分以上緊急走行し、接触まで長時間を要する場面も何度もありました。24時間勤務の中で食事も睡眠もとれない状態での業務は堪えるものがありました。それでも救急車に乗り続けるのには救急救命士になるという目標があったからです。プライベートでは外出自粛を迫られ、なかなか自由に行動できない期間がありました。しかし、その期間を活用し自己研鑽の時間にあてることで、令和5年の春に救急救命士の国家試験に合格することができました。

私は消防署に勤務しており、救急隊員としてコロナ陽性患者の元へ出場することも多く、公私ともにコロナの影響を肌で感じながらこの3年間を過ごしました。最盛期の救急事情は個人的な感想にはなりますが、崩壊状態といっても過言ではない状態でした。1人のコロナ陽性者を病院へ搬送するまで、別の救急隊と5時間おきに交代しながら計15時間以上その場で病院へ連絡し続け、ようやく決まった病院へ2時間かけて向かうこともありました。一方、コロナとは関係ない救急要請であっても普段通りに対応します。しかし、近くに救急車がないため40分以上緊急走行し、接触まで長時間を要する場面も何度もありました。24時間勤務の中で食事も睡眠もとれない状態での業務は堪えるものがありました。それでも救急車に乗り続けるのには救急救命士になるという目標があったからです。プライベートでは外出自粛を迫られ、なかなか自由に行動できない期間がありました。しかし、その期間を活用し自己研鑽の時間にあてることで、令和5年の春に救急救命士の国家試験に合格することができました。

コロナ禍の当初ウィーンへ



鳥羽瀬 宗一郎
(高42)

『新たなウイルス』について少しずつ報道がされ始めた頃、私は大学のウィーン・ブダペスト研修旅行の引率を控えており、果たして決行されるのかどうか不安な毎日を送っていました。今なら大丈夫ではないかとの判断で、予定通り決行。しかし現地に着くと、中々厳しい状況が続きました。アジア人の区別がつかないので、

我々の集団をウイルス扱いし、ホテルのエレベーターには一緒に乗らず、朝食会場でも離れた所に席を取り、道ですれ違い様に暴言を投げかけられたり、学生達に万が一危害が及んだらどうしようと、毎日心配で眠れない日々が続いた事を今でも良く覚えています。ウィーン在住の友人と食事をした時に、『早く変なウイルスが落ち着くと良いね』と話し、無事に帰国してから直ぐにヨーロッパで感染が拡大し、世界中がコロナの恐怖を感じる事となりました。マスクの習慣がないヨーロッパで、マスクをしている姿をTVで見ると不思議な感じがしていました。音楽の世界でも演奏会の中止や、対面レッスンが出来なかったり、大変なコロナ禍の日々でした。ようやく音楽界にも活気が戻り、今は嬉しい限りです。

私の健康法



長期的な幸福と充実した人生を送るためには、健康が最も大事な財産です。

健康法は、バランスのとれたライフスタイルの実践に基づいてなければならず、身体的な健康だけでなく、心と精神の健康も含めて総合的なアプローチを取っていくことが大事です。

今回は、古希を過ぎた4名の方に、「私の健康法」について述べていただきました。貴方の「健康法」は何を重視していますか？



福田 いく子
(高20)

私の健康法

定年後、「無理せず、楽しく」をモットーに過ごしています。食事・運動・社会参加(趣味)が私の健康の三本柱です。食事は朝昼晩きちんと食べます。野菜とタンパク質をバランス良くとり、好きなものをメインに、食べ過ぎないように気を付けています。近くに「旬」という魚専門のマーケットがあり、鯛、鯉、きびなご等子供の頃から好きだった魚を刺身にしてもらって食べるのは至福の時間です。運動は週3回6000歩程のウォーキングを楽しんでいます。季節ごとにルートを変え、花や紅葉、鳥の声に自然を感じています。また、骨盤底筋運動を毎日の習慣としています。趣味は定年後健康麻雀と俳句を始めました。週1回の麻雀はとても楽しいです。頭と手を使い会話をする。認知症予防に効果抜群だと思います。麻雀教室で居心地の良いシニア女子4人組の仲間ができて、年に2~3回麻雀と観光の2泊3日の旅を楽しんでいます。俳句は月1回の吟行と句会、脳と体をリフレッシュできています。無理せず楽しく、健康な毎日が続けていきたいと思っています。



明瀬 建
(高17)

土いじり

土に触れる生活が心身の健康につながる。そんな研究結果が米国の研究チームから発表されています。私は、75歳の後期高齢者となった一昨年の秋頃から体調を崩し、昨年3月に10年にわたり勤務していた職場を退職しました。その後、近くの小さな畑で野菜作りの真似事程度の作業をしていたら、近所の畑の地主から、百坪ほどの畑を使って欲しいと話が合ったのです。この畑は近年放置されて荒れ地の状態でした。素人の私は鍬等で耕し、雑草除去から徐々に畑らしく整地して行きました。畑は広大で、毎日朝日の出る前から夕陽が沈むころまで畑作業で土いじりです。そんな中、蒔いた種から芽が出た嬉しさはひとしおで、大根、白菜、キャベツ、玉葱、ジャガ芋等の収穫の喜びは格別でした。また以前、平石副会長から戴いた高菜を思い出し種蒔きし大豊作でした。野菜は近所の人や知人に分けて喜ばれています。何よりも嬉しい事は、度々呼吸が止まりそうで苦しんだ症状が無くなっていました。土いじりで健康！



幸山 道子
(高25)

天草弁でしゃべること

歳をとって体のあちらこちらに少しずつガタは来ていますが、今のところ病院通いすることもなく毎日を過ごしています。まずは丈夫な体に産み育ててくれた両親に感謝したうえで、毎日を忙しく過ごしていることが元気でいられる一因ではないかと思ひ至りました。我が家は娘達と同居で三世代七人です。娘も仕事を持っており多忙なため、時間的に余裕のある私が夕食の準備係です。小・中学と育ち盛りで食欲旺盛な孫達に栄養を考えながらの夕食作りは大変でもやりがいのあるものです。まだまだ必要とされていると思えることで元気になります。一番の健康法は天草弁でしゃべれる友達と会えることだと思います。ここ数年コロナ禍で集まることもままならず寂しい思いもしましたが、これからはまた楽しい時間を共有できると心躍ります。こもりっきりにならないように三十年近く続けているパートも、もうしばらく頑張ってみようと考えています。4月に同級生の古閑君が旅立たれました。皆で彼を偲いながら健康のありがたさを語り合いたいと思います。



大島 ひろみ
(高21)

運動、栄養、休養(趣味)の三本柱より

このテーマを頂き、私は何をして毎日過ごしているのか、改めて考えてみた。運動能力のない私はひたすら散歩。1日5千から6千歩、ストレッチ体操少々。コロナ禍で人の少ない道を選び、神社で色々な祈願をし公園では開花を楽しんでいる。午後の散歩はコースを変え、本屋と見てない映画をビデオで見ている。栄養面は息子家族と同居で、メニューが色々あり恵まれているが、野菜、豆類など積極的に取っている。睡眠は6時間前後、割と熟睡タイプ。趣味ではドライフラワー教室15年参加し、海外の珍しい花との出会い、メンバーとのお喋りには癒され、幸せな時間となっている。最近、喫茶店で新しい友人ができ、映画を共有し(推し)の話で盛り上がり、新鮮だ。旅行は親しき友と美術館、演劇、歌舞伎などランチ付きの日帰りコースとなった。気楽に楽しく過ごせる友人と、自由に過ごさせてもらっている家族に感謝し、元気なおばちゃんであるのが私の願いです。

ポルトガル歴史紀行

松野 明久（高27）



「過去」の出会い
天草に生まれ育った者と
して、ポルト

ガルと聞くとある種の感慨が湧いてくるのを否めない。

とくにキリシタン史を学んだわけではない私だが、東ティモールの研究のためその旧宗主国ポルトガルに通うことになった。予備知識はほとんどなかった。しかし、大航海時代に船が着いたというリスボンのテージョ川のほとりに立ち、ここが16世紀に天草と繋がっていたのかと思うと、さすがに胸が熱くなった。「過去」との出会いを体で感じた瞬間だった。

西欧の最貧国

私が初めてポルトガルを訪れたのは1987年。革命で独裁体制が倒された13年後。独裁体制時代、西欧の経済発展から取り残され、フランスなどへ出稼ぎに行く人が多かった。

ひなびたりスボンの路地裏。ゆっくりとした時間。そして安い物価！宿は一泊千円、朝食はカフェで百円。大衆食堂のワインは一杯五十円だった。



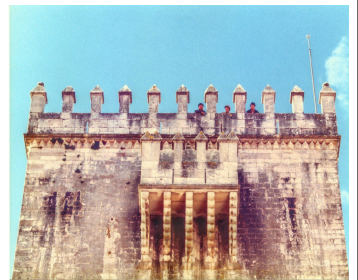
リスボンの路地
リスボンの街路は狭くて
坂が多い。
石畳はすべりやすい。

西欧の最貧国と言われながら、1人当たりカロリー摂取量はトップ。つまり、貧しくてもたらふく食べて飲める、そういう国だったのだ。

私は当時オランダに暮らしていて、静かで整然としたオランダに戻ってくる。「やれやれ、帰ってきてしまったな」と、安堵とも、落胆とも言えない奇妙な感覚にとらわれた。

内陸へ向かう

天正遣欧使節がリスボンに到着したのは1584年。当時、ポルトガルは海洋王国としての絶頂期を過ぎて、自治を保ちながらもスペインとの同君連合にあった。使節一行はのちにマドリッドでスペイン国王フィリペ2世に謁見するが、リスボンでは副王（総督）に指名されたアウストラリア枢機卿と会い、途中エヴォラの先のヴィラ・ヴィソウザでは大貴族ブラガンザ家のカタリーナ公爵夫人と会った。要するに、遣欧使節は両国のトップにお目通りを果たしたというわけだ。



エストレモスの城（宿）
塔の上からはアレンテージョ地方の丘陵・平原が見渡せる。

2ヶ月リスボンに暮らした1996年、私は、エヴォラ、そしてヴィラ・ヴィソウザにほど近いエストレモスに旅し、丘の上の城に宿泊した。各地にある城はボザードと言って宿施設になっている。

異邦人へのまなざし

エヴォラの農業博物館では、ベレー帽をかぶりジャケットを着たおじいさんが、ポルトガル語をほとんど介さない外国人の一行に、農業機械の一つ一つを愛情を込めて説明してく

れた。ポルトガルは農業国なのだ。ふとのぞいた酒屋の立ち飲みカウ

ンターにずんぐりしたご老人たちがたむろしていた。こちらを見て手招きをする。近づくことオーリーブとイワシを差し出した。「食べろ」というわけだ。奥で仕事をしているおかみ

さんを「客だよ」と呼んでいる。まばゆい陽光の昼下がり、当然飲むのは白ワインだ。すると、ご老人がコップに白ワインを入れ、こちらに差し出した。「お代は不要」という。見知らぬ旅人にワインとつまみをおくるとは、なんと気のいいおじいさん

たちなんだ！

夜、泊まった城の部屋の大きな窓から星降る夜空を眺めながら、その町の酒屋で「高い」と言われて買った一本300円のワインを開けた。400年前、遣欧使節がヴィラ・ヴィソウザの公爵邸（宮殿）から見た夜空もきっとこうだったに違いない。

異端審問の時代

天正遣欧使節が到着するしばらく前から、ポルトガルは異端審問の時代に入っていた。衰退へと向かう国勢の中、国王はイエズス会を招へいし、ザビエルをインドに派遣した。実は、ザビエルはバスク人で、カステイリヤ王国（スペイン）に征服された地方の貴族の息子だった。パリで学び、アジアでの布教に一生を捧げた。

異端審問はスペインでの迫害を逃れポルトガルに移住したユダヤ人たちを標的にした。彼らはキリスト教に改宗していたが、王国の人口の1割を占めるほどに増え、金融・貿易・医療分野などに進出して脅威と思われる存在になっていた。審問所は1539年に設置。改宗がみせかけとみなされた者たちは処刑された。

天草にキリスト教を広めたルイス・デ・アルメイダはリスボン生まれの改宗ユダヤ人だった。商人・医者として来日し、1557年に府内（大分）で病院を開く。しかし、秀吉は外国人による医療行為を禁じた。そこでアルメイダはイエズス会修道士

天草高校OBの皆様や天草出身の皆様のご寄附により、奨学金を給付することができました。

昨年の奨学生6名は全員、天草高校卒業生で、今年の奨学生6名のうち5名が天草高校卒業生です。ご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもったご寄附金が大きな手助けとなっています。ありがとうございます。

1,000円から
何口でも結構です

郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください。

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号

となり、1569年に河内浦にやってきた。その後マカオで司祭となつて天草に戻り、1583年に河内浦で死去するまで布教に身を捧げた。ここから先は想像に過ぎないが、ザビエルにしろアルメイダにしろ、故国に帰るつもりはなかったのではないか。彼らにとつて故国は征服や迫害の地だ。故国への失望と新天地への情熱。二人とも道半ばで波乱の生涯を終える。彼らが異国で見た夢は何だったのか、思いを巡らさずにはいられない。

イスラム文化の影響

イベリア半島におけるキリスト教徒の国土奪還をめざしたレコンキスタは、5世紀に渡つてムスリム(イスラム教徒)との戦争と共存を繰り返す長い歴史過程だった。また、ポルトガルはマラッカを占領した1511年以降、東南アジア島嶼地域でも要塞をつくつてムスリム勢力と戦いながら権益を確保していった。

1543年から百年足らずの間に、ポルトガル人が日本にもたらしたものに鉄砲やキリスト教、語彙、西洋楽器の他、野菜や菓子がある。じゃがいもやとうもろこし、金平糖、カステラ、ポーロ、鶏卵素麺などだ。実際、ポルトガルに暮らすと甘いお菓子をよく食べる。ペストリーの朝食は普通だし、プリンや、米を甘く牛乳で煮てシナモンを振りかけたアロス・ドセ、いかにも卵の黄身色をした菓子パンが店に並ぶ。「らく



路上の魚売り。イワシ、鰯、サバなど庶民的なものが多い。

だのよだれ」という甘つたるいキャラメルには名前からして驚いた。卵と砂糖を合わせたお菓子はアラブの影響で、それが日本にまで伝わった。実はポルトガルの生活はアラブ色に彩られている。敵のものでもおいしいものは別。米、オリブ、オレンジ、アプリコット、いちじくも起源はアラブ世界だ。

天草でそれを感じるのには鰯の南蛮漬け。魚を揚げて酢に漬ける料理は欧州の地中海沿岸各地にあり、エスカベッシュと呼ばれる。これもイスラム世界にルーツがある。

アラブでもユダヤでもないのはタコ飯。カタプラーナという貝型の銅鍋で供される。1人分1合はあると思われる長粒米に刻んだタコを入れて炊いた、さらっとしたリゾットだ。イワシも大量に消費される。6月の聖アントニオの誕生を祝う日にはリスボン中でイワシの炭火焼きが食される。赤ワインにオレンジ果汁を入れて甘酸っぱくしたサンテリアア合う。イワシは大衆食堂でも食べられるが1皿6尾と決まっている。他にも、大航海時代以降国民食となった鱈(塩干し)、イカ、太刀魚をよく

食べる。

天草に暮らしたポルトガル人もこのうした魚介をよく食べただろう。私もリスボン暮らしで昼に夜にタコ・イカ・魚をよく食べた。まったく違和感はなかった。

ノスタルジーばかりではない

多くの日本人はポルトガルにノスタルジーを感じる。しかし、逆からみるとそうとばかりも言えない。日本のキリシタン弾圧は残酷な歴史であり、1597年の二十六聖人(混血ポルトガル人が1人)を始め京都、大阪、江戸、長崎、雲仙などで処刑が行われた。また、太平洋戦争中、中立国だったポルトガル領ティモールを占領した際、神父や役人を殺害し、多くを抑留所に入れた。戦後ポルトガルは賠償を請求しようとして諦めたらしい経緯があり、国会でもそれは議論された。歴史とはどのつまりは関係を意味する。相手の視線で見ること必要だろう。

学生時代を振り返って

廣田 悠郎(高71)



この春、無事に早稲田大学の先進理工学部を卒業しました。五和

町御領出身の廣田悠郎です。大学時代は、生命科学を専攻し、興味のあつた腸内環境や食生活をマウスを用い

て研究していました。海藻やオクラなどに多く含まれる、マグネシウムの大粒さをテーマに、学会発表や卒業論文を作成しました。私たちの世代は大学二年生からコロナが流行し、そこから卒業まであまり対面での授業はありませんでしたが、とても楽しい大学生活を送ることが出来たと感じております。入学当初を振り返ると、当たり前ではありませんが、周りに知っている人がいない状況であったため、不安と寂しさからホームシック気味になっていたことを思い出しました。ですがそんな中、東京天草育英会や関東あまたか会の皆様が、食事会などの交流の場をたくさん設けて頂いたことで、乗り越えることが出来ました。意外と高校時代の友達で集まる機会というのは少なかつたため、山中会長や松尾さんをはじめとする天草の先輩の皆様には、自分を含め、同級生も本当に感謝しております。いつも笑顔になれる素敵な集まりを企画していただき、本当にありがとうございます。

私は、現在都内のゲーム会社で企画やプログラミングの仕事をしています。ずっと好きだったことが仕事になり、新生活でも毎日が楽しいです。これからは学生の間、お世話になった分以上に、東京天草育英会や関東あまたか会のご活動を支援出来ればなと思っております。社会人でも精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

あなたのパーソナルホテル

天草プラザホテル
〒863-0022 天草市栄町4-8
TEL 0969-23-5511 / FAX 0969-23-5588
古民家カフェ&和洋料理
饗家やぶ家
〒863-0022 天草市栄町5-18
TEL 0969-23-5431 / FAX 0969-23-3130

まちのコミュニティホテル

プラザホテル アネックス
〒863-0032 天草市太田町16-1
TEL 0969-23-3000 / FAX 0969-23-1240

プラザホテル ベルメゾン
〒863-0032 天草市太田町17-3

プラザホテル キューブ
(2023年9月オープン)

https://www.amaxa.co.jp | plaza@amaxa.co.jp

Amakusa Santa Coming Hotel Bridal Plan

サントスティックウェディング

ゲストのお客様と一緒に楽しむ結婚式を！

ゲストのお客様と一緒に楽しむ、おもてなしを第一に考えた結婚式です。是非ご相談ください。
→プラン内容など詳しくはホームページをご覧ください。

http://red-happiness.com

アマカサ サンタ カミング ホテル
〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3
TEL 0969-22-0100 FAX 0969-24-3472

子どもは地球の宝！ 守り育てよう！

赤ちゃんから大人まで安心してご利用頂けます

医薬部外品 薬じゃないけど常備役

液体歯みがき 歯みがき剤

【プレミアムナチュラル プレミアムジェル】

株式会社 やくそうの島 天草社

熊本県天草市浄南町59-3 TEL(0969)24-3697

科学部ホテル班がシンガポール世界大会に出場

事務局

科学部ホテル班は、7月29日～31日の間、シンガポールの南洋工科大学で行われた「グローバル・リンク・シンガポール世界大会」に出場しました。コロナ前の2019年に続いて2度目の世界大会出場になりました。「天草に生息するゲンジホテルの発光周期について」と題して発表しました。

5つの国と地域から200名弱が参加し、29日に11の会場に分かれ、英語でのプレゼンテーション（8分＋質疑応答10分）を午前・午後と2回行いました。



結果はあと一步 世界大会会場にて参加者全員集合
及ばず、30日のプレゼンテーション9校には選ばれませんでした。アクティビティでは天高生がステージに上がり、みんなで「天草ハイヤ」を踊りました。皆、精一杯頑張りました。詳細は、会報46号にて報告いたします。



天草高校便り

天高3年生は今

天草高校 3年 小松山 星 あかり



現在（5月）の天草高校は体育大会と中間考査が終わり、高校総体、総文祭に向けて各部活動が頑張っているところです。今年の体育大会は、半日開催ではありましたが、3年ぶりに制限のない大会を行いました。新学期が始まる春休みから、生徒会や応援団、団席を飾るパネル担当がそれぞれの準備を始め、天高生全員が活躍できる内容を考えたり、演舞の練習をしたり、パネルの図案を考えたりしました。当日は、天高生の一生懸命な姿で、来賓の方々や地域の方々に感動を与えることができましたと思います。私たち自身にとっても思い出に残るいい体育大会となりました。また、その後に行われた中間考査は、高校総体を控え、部活動の練習とテスト勉強の両立が大変でした。部活動生は、毎日終礼後すぐ教室を飛び出して、時間ギリギリまで練習に取り組んでいました。テスト勉強は、朝の教室や放課後の図書館などを利用し、全員で良い雰囲気を作って取り組みました。このように、天高生は、学校行事や勉強、部活動などのいろいろなことに頑張っています。

天草便り あましんスタジアム（天草市陸上競技場）がオープン

西田 勝年(高12)

「天草市陸上競技場」は、「あましんスタジアム」（ネーミングライツ・パートナーは天草信用金庫）と命名され、本渡中学校と隣接した大矢崎緑地公園内に完成し、7月1日から供用を開始されています。日本陸上競技連盟からは、第三種の公認の陸上競技場として認定を受けており、熊本陸上競技協会が主催する陸上競技会等を開催することが可能となっております。付帯施設として、全国でも珍しい傾斜走路に加え、練習用走路、1kmの周回コースなども整備されています。

6月25日には、内覧会が開催され約600名の市民が訪れました。7月15日には、落成式が執り行われ約100人が落

成を祝いました。その後、7月15日と16日には、九州地区大学体育大会の陸上競技が開催されました。

陸上競技場の中心施設として、天草市陸上競技場管理事務所2階建て約2,448㎡が併設されています。これから、さまざまな大会や合宿が行われ、交流人口の増加などにより地域の活性化につながっていくでしょう。

「あましんスタジアム」は、有明海、天草上島の山々、天草未来大橋、天草下島の帽子岳などが眺められる絶景の地にあります。

ふるさと天草に帰られた折には、立ち寄られ散策・スポーツ等で楽しまれてみては如何でしょうか。



- 400mトラック
- 8レーン
- ホームストレート
- 9レーン
- インフィールド
- 天然芝
- サッカーコート1面
- ラグビーコート1面

天草市ふるさと応援寄附金

ふるさとへの想いを大切にしながら、全国でご活躍されている皆さま。是非、「ふるさと納税」という応援スタイルで、「ふるさと天草」を元気にするための、まちづくり・人づくりを応援してください。



お申込み・お問合せ先

天草市ふるさと納税サポート室
電話：050-5444-6448(土日祝除く9時～18時)
メール：support@amakusa.furusato-ig.jp



ふるさとチョイス 楽天

天草市の魅力的な返礼品をお届けします！

厳選したこだわりの逸品「定期便」



ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和5年度年会費を納入された会員の皆様（8月14日現在）

定時	大塚 博幸	9	梅本 進	11	藤田 和雄	15	谷山 弘行	17	明瀬 建	19	山田 貞子	20	橋川 順一	23	岩野 都美子	27	渡辺 満宏
定時	大浦 サトエ	9	益田 幸三郎	11	山下 交	15	松尾 弘美	17	松本 貢二	19	山田 敏房	20	及川 立子	22	江越 博昭	27	松野 明久
定時	藤田 和治	9	吉本 守	11	橋本 光春	15	井上 義通	17	駿河 和子	19	小橋 圓子	21	土井 一美	23	濱崎 守	28	江頭 眞喜子
3	酒井 ノブ子	9	山田 輝夫	12	前田 栄一	15	素崎 常雄	17	長濱 栄喜	19	宮崎 秀隆	21	菅澤 眞弓	23	田原 眞記子	29	木谷 祐一
4	小溝 尚敏	9	中元 令士	12	小林 唯助	15	土佐 幸子	17	津田 祐一	19	翼 憲雄	21	馬場 信子	23	桑野 良二	29	田中 優子
4	堀 青子	9	秋田 健二	12	山並 義孝	15	前田 非登美	17	緒方 茂夫	19	洲崎 きみ子	21	山中 麗子	23	森下 泰光	29	榊原 保夫
5	武田 一士	9	石井 良空	12	岩崎 定義	15	原田 喜久雄	17	齋藤 佐智子	19	山下 純二	21	田原 昭	23	清水 眞知子	30	石島 剛
5	宮崎 大和	9	宮崎 光伸	12	金子 なほみ	15	浦郷 昌代	17	志茂 豊子	19	大坪 里子	21	川原 照文	23	平田 勤	31	緒方 恵一郎
6	小島 庄太郎	9	大塚 満	12	三俣 香代子	15	澤田 健次郎	17	中河原 昭夫	19	田中 廣子	21	川上 文明	23	佐藤 正明	31	竹口 勝二
6	西 比紗子	9	三宅 康定	12	西田 勝年	15	山本 忠義	17	林田 秋由	19	坂川 武	21	野島 雄二	23	倉田 和利	31	藤木 俊彦
6	小畑 幸保	10	久野 栄子	13	子原 敬子	15	山本 洋子	17	山口 泰教	19	佐藤 純	21	佐々木 容子	23	岡部 養一	31	沼田 章子
6	梶田 恵光	10	本多 勝則	13	武田 縣	16	松尾 和幸	17	松下 庄治	19	佐藤 節代	21	岩下 好夫	24	山下 庄治	32	小森 智美
6	光崎 親一	10	木村 哲典	13	石井 裕二	16	倉田 蕃造	17	金子 敬美	20	宮本 東志美	21	益田 志郎	24	木村 さよ子	33	吉永 晋介
6	大和 賢造	10	小林 惟邦	13	板垣 壽朗	16	平石 水利	17	口元 博	20	原田 淨	21	尾上 充	24	須賀原 眞弘	35	舎川 恵子
7	森本 雅生	10	佐藤 幸代	13	市川 優子	16	大塚 延子	18	星野 悦子	20	福田 いく子	21	古山 隆樹	25	吉村 いつみ	42	鳥羽瀬 宗一郎
7	喜多 哲正	10	亀井 眞理一	13	土黒 寛	16	伊東 伸子	18	赤尾 美恵子	20	宮崎 幸一	21	大島 ひろみ	25	野口 金徳	46	登本 洋子
7	本多 敏朗	10	薄山 義行	14	原田 幸徳	16	小野寺 正和	18	津田 志保子	20	大塚 賢次	21	稲葉 卓士	25	小松 健二	46	山田 知子
7	田崎 弘吉	10	平田 俊清	14	大野 正光	16	園田 達彦	18	齋藤 都	20	山口 涼子	21	歳田 博文	25	竹尾 孝幸	48	山下 太郎
7	岩崎 良昭	10	奈良崎 應彦	14	原田 純吾	16	松岡 敏治	18	三浦 純子	20	木原 巡一	21	佐藤 義博	25	金子 尚弘		
8	松浦 福雄	11	大塚 徳満	14	福島 利男	16	稲葉 由起子	18	松本 恵美子	20	上 元範	21	藤本 愛人	25	坂本 秀明		
8	三澤 哲也	11	清原 桂典	14	松岡 秀枝	16	永野 和輝	19	植村 嗣久	20	安斉 きみ子	21	翼 正喜	25	今村 恵子		
9	渡辺 和則	11	加藤 いせみ	14	森田 絃司	16	本多 謙二郎	19	荒木 統司	20	赤石 修一	22	有馬 衛	25	古閑 学		
9	岡田 松市	11	関口 世紀子	14	北内 寿夫	17	角岡 セツ子	19	楢原 いそ子	20	池田 照樹	22	原田 眞一	26	山下 勝範		

令和5年度年会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

定時	大浦 サトエ	9	宮崎 光伸	12	西田 勝年	17	角岡 セツ子	19	山田 敏房	20	大塚 賢次	21	佐藤 義博	23	森下 泰光	25	野口 金徳
6	小畑 幸保	10	奈良崎 應彦	13	武田 縣	17	中河原 昭夫	19	宮崎 秀隆	20	上 元範	22	原田 眞一	23	清水 眞知子	25	金子 尚弘
6	梶田 恵光	11	清原 桂典	13	石井 裕二	17	林田 秋由	19	山下 純二	20	池田 照樹	22	江越 博昭	23	倉田 和利	27	渡辺 満宏
7	喜多 哲正	11	関口 世紀子	13	板垣 壽朗	17	山口 泰教	19	大坪 里子	20	橋川 順一	23	濱崎 守	24	木村 さよ子	29	田中 優子
7	田崎 弘吉	12	岩崎 定義	17	松本 貢二	18	三浦 純子	19	田中 廣子	21	田原 昭	23	田原 眞記子	24	須賀原 眞弘	35	舎川 恵子
9	中元 令士	12	三俣 香代子	17	長濱 栄喜	19	山田 貞子	20	宮崎 幸一	21	佐々木 容子	23	桑野 良二	25	古閑 学	46	登本 洋子

前年度までに令和5年度年会費を納入された会員の皆様

8	松浦 福雄	14	原田 幸徳	20	原田 淨	23	岩野 都美子	27	松野 明久								
---	-------	----	-------	----	------	----	--------	----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

令和5年度に令和3年度、4年度、6年度及び7年度年会費を納入された会員

10	奈良崎 應彦																
----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

お名前の記載漏れや間違いがありましたら、お手数をお掛けしますが事務局までお知らせください。

当会の振替口座は下記のとおりです

- ゆうちょ銀行から振り込む場合
 - 口座記号番号：00180-6-487424
 - 口座名義：関東あまたか会
- 他の銀行から振り込む場合
 - 銀行名：ゆうちょ銀行
 - 口座名義：関東あまたか会
 - 店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュー）店（019）
 - 預金種目：当座
 - 口座番号：0487424

令和5年度年会費等の払込みのお願い

令和5年度年会費（2,000円）及び寄附金納入は、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票をご使用ください。振込手数料は会で負担しますので、会員の皆様は無料です。但し、現金での振り込みには110円の手数料がかかりますのでご注意ください。払込取扱票には、お手数ですが住所・氏名を記載してください。なお、上記に氏名を記載されている方は、既に納入済ですので、払込取扱票は同封してありません。払込みは必要ありません。

クラブ赤石

赤石 洋子（本渡出身）



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階

TEL：03-3573-3994
携帯：090-5325-9377

E-Mail: y_akaisi@f2.dion.ne.jp

（銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先）

* 2023（令和5）年度 関東あまたか会総会・友好の集いのご案内 *

関東あまたか会は、あんたん会ばい 友達ば連れて来んね

素敵な音楽のひととき 天草ん懐かし味も販売すつとよ

- 1 日 時：2023年10月22日（日）12：00～15：00
- 2 場 所：スクワール麹町 3階「錦華」 千代田区麹町6-6 ☎03-3234-8739
JR四ツ谷駅下車 麹町口の目の前 徒歩約1分（会場には駐車場はありません）
- 3 会 費：男性 6千円、女性 5千円、ご夫妻 1万円、30歳未満 3千円、学生 無料
- 4 ご出欠のお返事は、同封の返信用葉書に、必要事項をご記入の上、9月30日（土）までにお知らせください。ご出欠の返信後に変更が生じましたら、10月19日（木）12時まで、下記の事務局長の吉村いつみまでご連絡ください。

次第

- 受付 11：30～12：00
- 総会 12：00～12：45
- 記念写真 12：45～13：00
- 友好の集い
13：00～15：00
- 自己紹介・近況報告
- 長寿の祝い
（還暦・古希・喜寿・傘寿・
米寿・卒寿）
- 素敵な音楽のひととき
フルーツ演奏
Cally（天草出身のシンガー
ソングライター）
- みんなで踊ろう
（牛深ハイヤ節）
- みんなで歌おう
（ふるさと、校歌斉唱）



イラスト：中京支部 吉田和美（高17）

天草物産品販売

あじみりん干し、手作り団子、塩あんもち、辛子れんこん、乾燥わかめ、あおさなどを販売予定です。ご希望の天草物産品がありましたら、返信用はがきにてお知らせください。

連絡先：

事務局長 吉村 いつみ
〒353-0004
埼玉県志木市本町5-17-5-606
☎090-8000-1722
E-Mail:kimicchan135@gmail.com

ホームページについて

ホームページは、2022年11月にリニューアルしました。

インターネットで「関東あまたか会」と入力し、検索をクリックするとご覧になれます。また、スマホからは、右記の「QRコード」を読み取ってご覧下さい。



会報への投稿のお願い

会報は、皆様と情報を共有できる唯一の手段です。会報は、皆様のものです。皆様でいろんな寄稿文、写真、絵画などを投稿して、皆様が読みたいと思える会報に育てましょう。投稿先は、上記事務局長の吉村いつみ宛にお願いします。

令和5年3月、役員5人、で、「つくば Science Edge 2023」の応援に行つて参りました。発表はとても素晴らしく感動したのですが、感覚として残っているのは、「お見送り」をしてもらったことです。昼食を共にし、午後はワイクショップに参加とのことで、先生と発表者の二人とは早々にお別れ？をしました。その時、会場出口まで送って頂き、深々としたお辞儀の礼を受けました。言葉以上の感謝の気持ちを抱きました。「目は口ほどにものを言う」と言いますが、目で語り合う、態度で示すことなどは、天草人が得意とするところでは、伝統でもありますが、そして、文章で表現することもお上手で、皆様からとても素晴らしいご寄稿をいただきました。寄稿すべき」と謙遜なさる方が多く、ご寄稿をお願いします。今後ともお待ちしております。

編集後記
吉村 いつみ（高25）

この1年間に「逝去された方をお知らせいたします」
天中 相良 諫雄様（令和4年）
高1 遠藤 壽様（令和4年）
高8 宮田 俊男様（令和4年）
高25 古閑 学様（令和5年4月）
謹んで哀悼の意を捧げます。
なお、故古閑様は、令和元年から学年幹事として、更に令和2年から2年間事務局長として会のために「尽力」いただいております。令和3年9月頃、原因不明の病気に罹り、療養中でしたが、ご快復かなわず逝去されました。